

自由民主党 災害対策特別委員会
令和元年8月の前線に伴う大雨災害対策に係る現地視察

報告書

令和元年9月4日（水）

【メンバー】

今村雅弘	災害対策特別委員会 委員長・政務調査会長代理
佐藤信秋	災害対策特別委員会 委員長代理
坂本哲志	災害対策特別委員会 事務局長・政務調査会長代理
福岡資麿	政務調査会長代理
岩田和親	国土交通部会長代理

【日程】

令和元年9月3日（火）

11:10～11:25	【現場視察】武雄市：長崎道 武雄JCTのり面地滑り箇所
12:15～12:20	【現場視察】武雄市：ゴミ集積箇所
12:35～13:00	【現場視察】大町町：油流出箇所（排水作業現場）
13:15～13:25	【現場視察】大町町：ボタ山崩落現場
14:00～14:30	【意見交換】小城市・小城市議会
15:15～15:50	【意見交換】自民党佐賀県連・佐賀県議会



【概 要】

【現場視察】武雄市：長崎道 武雄 JCT のり面地滑り箇所

- 武雄 JCT～武雄北方 IC 間下り線ではのり面の変状にともなう路面異常が発生し、通行止めとなっている。その為、武雄市内の幹線道路は渋滞が起きており、市民生活に大きな影響が出ている。
- 一日も早い復旧に向けて作業が進められているところであるが、通行止め解除までに時間を要する見込みである。9月中旬を目途に上り線二車線を活用し、対面通行による措置をする予定。



【現場視察】武雄市：ゴミ集積箇所

- 対応者：小松 政 武雄市長
- 武雄市内に3ヶ所のゴミ集積所を設置。当初は2ヶ所であったが、想定を上回るゴミの量となったため3ヶ所となったが、3ヶ所目も満杯状態になっている。
- 特に可燃物の臭いが問題となりつつある。
- 商店や事業所の9割が浸水してしまったため、早期の事業再開に向けた支援が課題である。



【現場視察】大町町：油流出箇所（排水作業現場）

- 対応者：水川 一哉 大町町長
- 流出した油対応について、国の所掌はない為、国・県・市が連携して対応。
- 工場の従業員、消防団員、自衛隊、ボランティアなどにより吸着マットで油を吸い取るなどの除去活動を進めている。
- 対応が長期化することにより、対応費用が膨らむことが懸念。主に人件費や油吸着マット費用であり、長期化すると5億～10億程度にまで膨らむことが見込まれる。一企業では払えない額であり、国による財政的措置も必要である。
- 油除去の処置を終えた水をいまだに放流できないでいる。放流タイミングを間違え、万が一にも拡散してしまうと人災となってしまう。
- 場所によっては油の臭いがきつい場所もある。
- 農産物に対する風評被害が懸念されている。



【現場視察】大町町：ボタ山崩落現場

- ボタ山わんぱく公園で、大きいものは幅 80 メートル、長さ 180 メートルにわたる土砂崩・地滑りが発生。
- 記録的な大雨のほか水が溜まりやすい谷型の斜面だったことが原因。
- 地滑りを起こした箇所がさらに拡大する恐れや、同じように崩れた斜面がほかにもある可能性があるため、早急に点検、確認が必要。
- 崩落した土砂は5～10万トンにのぼるとみられ、産業廃棄物扱いとなるため、運搬費用や処理費用のコストが大きくなることが懸念されている。
プッシュ型支援が求められている。



【意見交換】小城市・小城市議会

- 対応者：江里口 秀次 市長
- 小城市では経験したことがない大雨であるとともに、有明海が満潮時だったこともあり、今回の被害となった。（有明海の満干差は7M）
- 市議会を休会するなど復旧・復興に全力で取り組んだ結果、町中では被害の爪痕はあまり見られなくなったが、山間部ではまだ復旧が必要な箇所も多い。
（参考：山間部での被害状況）
 - ・ ため池のせき止めコンクリートの崩落、老朽化したため池へのダメージ
 - ・ 流木による川のせき止め、橋梁へのダメージ
 - ・ 林道の崩落
- 今回の災害を教訓に、堤防高への対応、満潮時における豪雨への対策、排水ポンプ停止前の対応の見直し（排水ポンプ停止にならないようにするための防災・減災対応の強化）、遊水池の早期事業化などの対応を進めるにあたり支援いただきたいとの要望があった。



【意見交換】自民党佐賀県連・佐賀県議会

- 今般の豪雨災害に対し、堤防の決壊・越水により広範囲にわたり家屋等が浸水するなど、近年稀にみる災害となった。住民生活や経済活動が深刻な打撃を受けており、県民の安全・安心を第一に、被災地の早期復旧に全力を挙げるところである。
- 政府の緊急かつ重点的な支援について、以下の9点について申し入れ。（詳細は別紙参照）
 1. 激甚災害の早期指定について
 2. 被災者生活支援について
 3. 公共土木施設等の災害復旧事業の早期採択等について
 4. 低平地における排水対策について
 5. 病院、社会福祉施設、学校教育施設等の早期復旧に向けた支援について
 6. 商工業や農林業への支援について
 7. 油流出対策の徹底について
 8. 災害廃棄物の処理について

